

2008年3月19日

ワークショップ No.27 参加者各位

日本学術振興会
プロセスシステム工学第143委員会
委員長 長谷部 伸治
ワークショップ No.27 代表者
京都大学大学院工学研究科准教授
加納 学

プロセスシステム工学第143委員会
ワークショップ No.27・第6回研究会開催通知
(<http://ws27.pse143.org/>)

1. 日時：2008年4月18日（金）13:00～17:00
2. 場所：東京農工大学 小金井キャンパス 11号館 L1111 講義室
(東京都小金井市中町 2-24-16)
(交通案内 <http://www.tuat.ac.jp/access/tra5.html>)

3. 内容：

13:00-15:00 講演：「プラントワイド制御構成の不整合問題と回避策」

喜多 富士雄 氏（日揮）

プロセス制御ループの組合せおよび方向性の些細な相異によって、「不整合な制御構成」となってしまう、所期の運転が達成できなくなる危険性がある。「成立する制御構成」と「不整合な制御構成」とを判別できることはプロセス設計上で必須の課題である。本講演では、不整合制御構成の判定手法および回避策を解説する。

15:00-15:20 議論・休憩

15:20-15:50 討議：「VAプロセスを対象としたVMモデルの紹介」

大寶 茂樹 氏（三井化学）

Visual Modeler 上に開発した Vinyl Acetate Monomer Process モデルを紹介し、本モデルを利用して WS27 でどのような検討を実施するかについて討議する。

15:50-16:20 講演：「IFT/VRFT の適用可能性検討結果報告」

田坂 謙一 氏（京都大学）、加納 学（京都大学）

前回研究会での議論を踏まえて、追加検討を実施した結果を報告する。

16:20-16:50 講演：「プロセス特性変化に対応可能なソフトセンサの設計法：相関型 JIT 法」

加納 学 氏（京都大学）

ソフトセンサの一設計法である相関型 Just-In-Time 法とその実データによる検証結果を紹介し、設計と保守の観点から実用可能性と課題について討議する。

16:50-17:00 その他

- ・次回研究会について

[その他]

- ・準備の都合がありますので、4月11日（金）までにご出欠についてご連絡下さい。

[出欠連絡先]

京都大学大学院工学研究科化学工学専攻 加納 学

E-mail: manabu@cheme.kyoto-u.ac.jp